

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 大成製紙株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒708-0841 岡山県津山市川崎200番地1
----	-------------------------	----	--

本票作成	部署名：製造部動力課
------	------------

主たる業種	分類コード	14	業種名：パルプ・紙・紙加工品製造業
-------	-------	----	-------------------

事業の概要	段ボール原紙・衛生用紙製造業、生産数量103,000 t/年、従業員数154名、社用車2台、フォークリフト12台
-------	--

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	大成製紙株式会社	岡山県津山市川崎200番地1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	62,900 t CO ₂	52,814 t CO ₂	76,300 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	大成製紙株式会社	52,814 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	32.9 %	10.1 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(千 t)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(25) 年度	目標年度
		761.000 t CO ₂ /(千 t)	511.000 t CO ₂ /(千 t)	684.000 t CO ₂ /(千 t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等
指標の状況	板紙製造業	4,944MJ/t	6,875MJ/t	71.9

【削減状況の自己評価】

平成25年度原単位実績は、基準年度に対して32.9%削減となり、5箇年計画目標削減率である10.1%は達成できている状況です。
平成25年8月にバイオマスボイラーを設置し、重油ボイラー4基を停止することで、基準年度に対して大幅に温室効果ガス排出原単位を低減することができています。
省エネルギーについては電力省エネと燃料転換を重点に取り組み、温室効果ガス排出量削減を進めています。

【推進体制】

代表取締役社長を責任者とした管理体制のもと、製造部門を5部門にわけ、省エネルギーを推進しています。
各製造部門と省エネルギーに関する会議を1回/月実施しており、電力、蒸気、エアの低減を目的に、品種による製造ラインの機器停止、エア使用箇所の見直、漏れ箇所の補修改善、蒸気配管の保温、省エネ機器の導入を進めています。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
大成製紙株式会社	(25年度実施分) バイオマスボイラー設置による温室効果ガス排出量削減 高効率電動機採用による電力費低減 LED照明設備導入による電力量削減 工場内エネルギー管理システム導入による電力量削減 (今後実施予定分) LED照明設備導入による電力量削減 高効率コンプレッサ導入による電力量削減 湿紙乾燥用蒸気ライン見直しによるボイラー燃料使用量低減 高効率電動機導入による電力費低減 家庭紙熱風発生装置改善(灯油→LNG) 力率改善コンデンサ更新

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	平成25年8月バイオマスボイラー設置
その他	無	

【その他特記事項】

平成25年8月にバイオマスボイラーを稼働し、重油ボイラー4基を停止(バイオマスボイラー整備時のみ稼働)し、温室効果ガスを低減しています。
省エネルギー取組みに対して数値目標を設定し、取組みを実施しています。
設備合理化計画では、省エネ機器を選定し導入しています。